





消化器・肝臓センター

NEW 一す NO. 71

2021.5



 ごあいさつ 

…副院長 長谷川 順一…

専門分野は下部消化管の外科になります。

これまで特に力を入れ取り組んできた領域は大腸癌に対する低侵襲治療・機能温存手術です。直腸癌であれば術前治療と肛門温存手術にこだわってきました。癌病変を縮小させる効果が強く、残したい(機能を温存したい)隣接臓器への影響・侵襲の少ない術前治療を開発することを目標に、臨床試験を立ち上げ多くの患者さんに提供して参りました。

また皮膚・排泄ケア認定看護師の方々と共に排便障害改善プログラム(肛門内圧をモニタリングしながらの骨盤底筋体操を取り入れたケア)を術前後に取り入れる等、患者さんの希望にできるだけ応える肛門温存治療を試みてきました。また最近ではロボット支援手術と経肛門的直腸間膜全切除(ta-TME)という手術を積極的に推し進めてきました。ロボット手術の強みは最大約15倍の拡大視効果と自由度の高い多関節能を持つことです。これらを駆使することで従来不可能とされていた角度からの自在で細密な鉗子操作が可能となり、狭い骨盤腔内でも精密な手術操作がより簡単に行い得るようになりました。ta-TMEは腹腔側からのアプローチが困難な狭骨盤男性や巨大な腫瘍の直腸手術に適しており、骨盤領域疾患に対する手術の幅を大きく広げました。このような経験を活かし、当院の消化器センターをはじめ、低侵襲外科手術センター・化学療法センター等のさらなる発展に貢献出来ればと考えております。また悪性疾患に限らず、炎症性腸疾患、直腸脱を含む肛門疾患といった消化管・肛門領域の良性疾患の外科治療にも対応できる診療体制にしたいと考えております。特に潰瘍性大腸炎・クローン病患者さんの外科治療は泉州地区にとって重要課題となっています。

これらの治療は地域の連携施設・かかりつけ医の先生そして当院内科スタッフのお力添えなくしては考えられません。当院の理念である「地域住民を守る良質な医療の提供」に粉骨砕身努力いたします。

泉州地区の先生方はじめ市民の皆さま、ご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

